炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー 給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備 ヒートポンプ冷暖房機 火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

稲沢市消防長).	殿										年	月	日
						届出	者	住	所	ŕ								
						/ш [氏	名									
								電	記					()		
稲沢市	5火災子	防勢	条例第	£4.	4条の	規定	によ	り、	届	計出	ます。	0						
防火	所在均	地										信	 直話			()	
対象物	名 和	称									主要	更月	途					
設置	用证	途					床面	面積	Ť		n	n² ¾	肖防月	目設備	崇	又は		
場所	構立	造					階	層				+	寺殊消	当防月	用設	備等		
	設備	の	種業	頁														
届	着工(子	大定)	年月日	3		年	F	1	F	竣工	. (予)	定)	年月	日		年	月	日
出	設備	\mathcal{O}	概 弱	É.						<u>Į</u>								
設	使用する燃料・				種			*	頁				使		用	量		
備	熱源・加工液																	
	安 全	<u> </u>	表 晶	置														
取扱責	任者	Ø .	職氏	名														
工事施		住	j	折														
	. 上 百	氏	3	名								Ē	電話		()		
	*	受	į.	付	欄						*		経	ì	咼	欄		
				_								_		_				
()	<i>></i> 4-1-1					T.L.	/ N++											

- (注) 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 2 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては「屋外」と記入すること。
 - 3 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
 - 4 設備の概要欄に書き込めない事項は別紙に記載して添付すること。
 - 5 火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあっては、使用量欄には1時間当たりの入力を記入すること。この際、電気を熱源とする設備にあっては、1キロワットを3,612キロジュールに換算すること。
 - 6 当該設備の設計図書を添付すること。
 - 7 ※印の欄は、記入しないこと。
- 備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー 給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備 ヒートポンプ冷暖房機 火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

○○年○○月○○日

稲沢市消防長

殿

届出者 住 所 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号 氏 名 〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇

電 話 0000 (00) 0000

稲沢市火災予防条例第44条の規定により、届け出ます。

ווסעכוו	17790	1 157	V 1,12/1		100)	/Ш (/ Ш	<i>o</i> / °						
防火	所在	地	〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号 電話 〇〇〇〇 (〇〇)										
対象物	名	称	000)株式会社		主要			000	製造工場			
設 置	用	途	ボ	イラー室	床面積	OC) m²	消防用設備等又は		消火器			
場所	構	造	OC	造〇〇葺	階 層	00)階	特殊消防	i用設備等	○○○設備			
	設備	の	種 類	00000	株式会社	∴製 ○	0-0	000	○○○製造工 備等又は 消火を 用設備等 ○○○ ○○年○○月○ ・ 用 量 ○○.○0/H				
届	着工(予定)年月日			○○年○	O月OC)日 竣工	. (予定	定)年月日 〇〇年〇〇月〇〇					
出	設備	i の	概要	00000	0								
設	使用	する	燃料・	種		類		使 用 量					
備	熱源	• 力) 口工液	第4類	第○7	5油類		○○. ○ℓ/H					
	安全	全	装 置	安全弁、電	磁弁、〇								
取 扱 責	任者	台の	職氏	名	: 000								
工事施			三 所	〇〇県〇(○○県○○市○○町○○○番地								
	. 工 但	A	名	00000) 株式会	社003		電話 〇	000(0(000)0000			
	*	Ž	受 付	十 欄			*	経	過欄	Hear			

- (注) 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 2 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては「屋外」と記入すること。
 - 3 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
 - 4 設備の概要欄に書き込めない事項は別紙に記載して添付すること。
 - 5 火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあっては、使用量欄には1時間当たりの入力を記入すること。この際、電気を熱源とする設備にあっては、1キロワットを3,612キロジュールに換算すること。
 - 6 当該設備の設計図書を添付すること。
 - 7 ※印の欄は、記入しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。